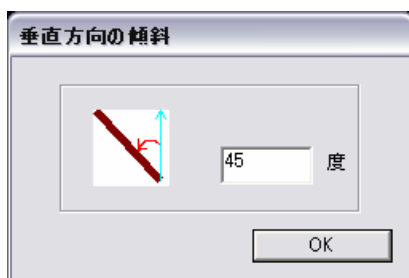
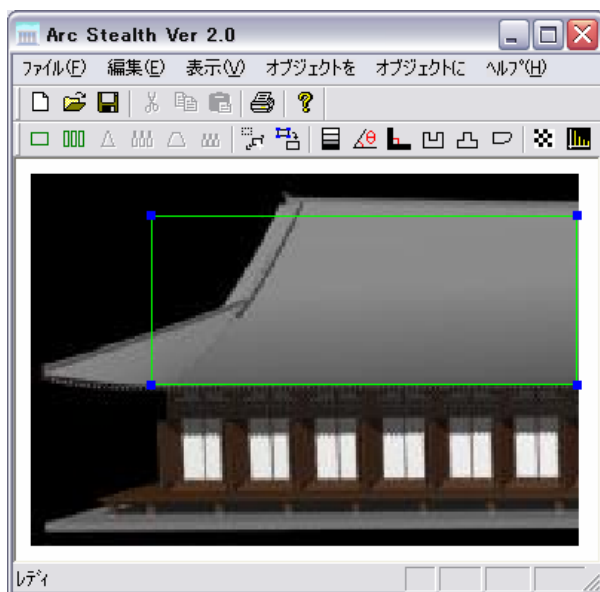
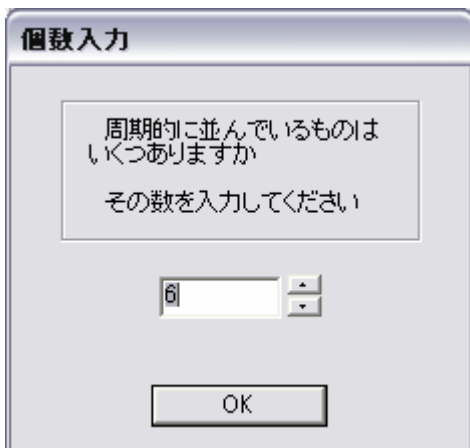


まずは、三十三間堂の CG を読み込む（手間等の都合上、CG の左端だけを使う）

屋根の面積とおおよそ等しくなるように矩形で囲み、明度 2、角度垂直 45 度に設定する。

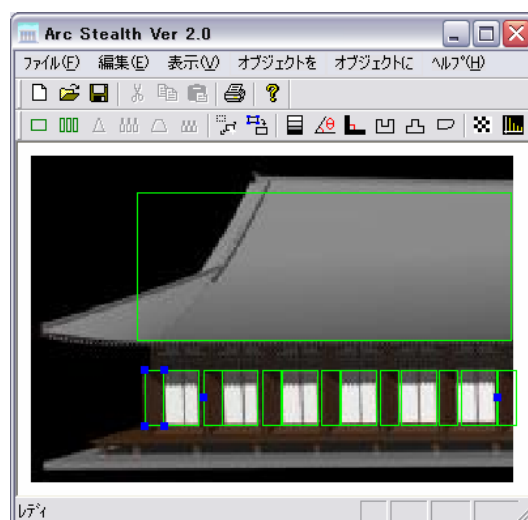
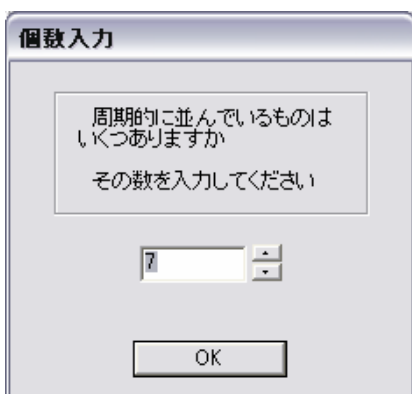
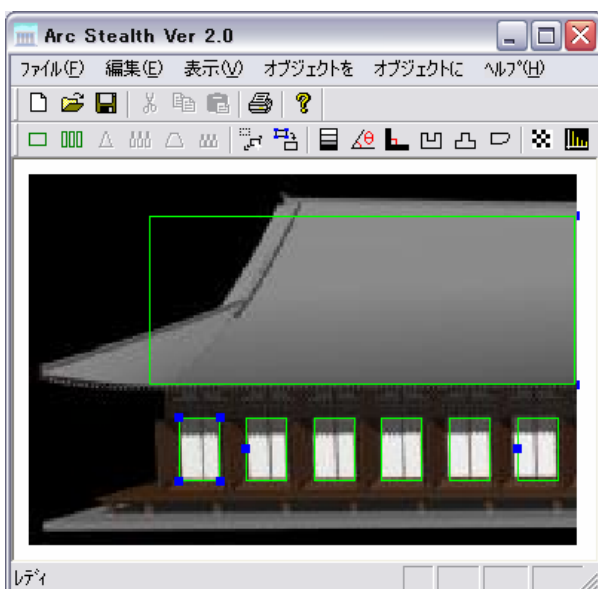
（実際には 45 度も傾いていないが、観測者が下から屋根を見上げていることを想定している。）

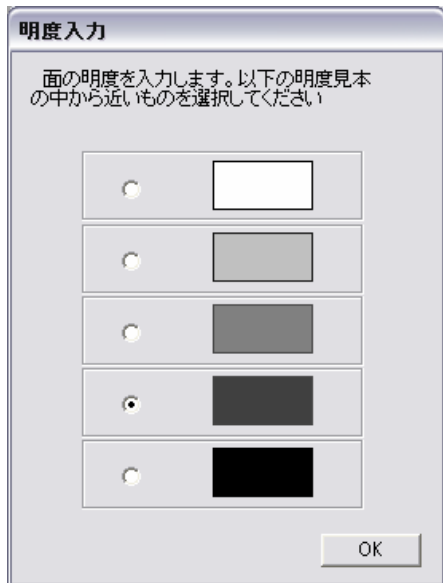




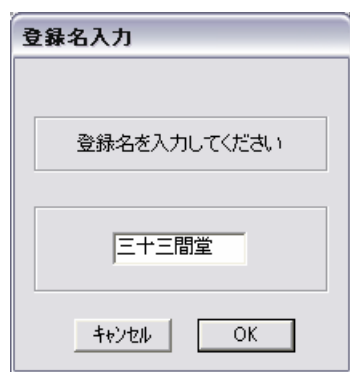
次に、扉の入力を行う。扉は6つが周期的に並んでいる。また、扉と扉の間も周期的だからこれを7つ入力する。

扉の明度は1、扉と扉の間の明度は4とする。

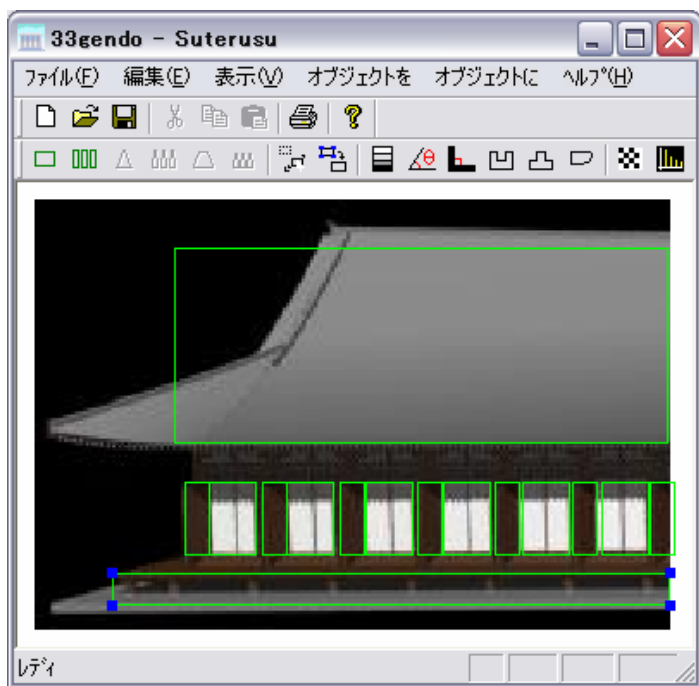




縁の下については、空洞であるから、何もないことにする。これで三十三間堂に関して一通りの入力を終えた。後の比較のためにこれを「登録」しておく。  
(保存もしておく\*)



さて、次に、三十三間堂と比較する建物の入力を行う。まずは、もし三十三間堂の縁の下が空洞ではなく、近代建築に見られるようなコンクリートだったらどうかという場合についてである。これについては、縁の下の部分が白いコンクリートであると、かつ直角部分が上下についているものとする。



**直角の凹み入力**

選択した面の縁のラインは直角の凹みをなしていますか

直角の凹みのラインなし  
 辺の一つが直角の凹みのライン  
 辺の二つが直角の凹みライン  
 辺の三つが直角の凹みのライン  
 辺の四つが直角の凹みのライン

OK

**登録名入力**

登録名を入力してください

近代もの

キャンセル OK

以上の入力を終えたのちに、「登録」する。

これで、「三十三間堂」とその縁の下がコンクリートになった「近代もの」とを比較する準備ができたので、結果を見る。

**地価換算結果**

三十三間堂 と 近代もの のステルス効率を表示します 表示

三十三間堂 のステルス効率を1とすると  
 近代もの のステルス効率は2.213です。つまり、  
 ステルス効率により圧迫感が増加しています。このため、  
 近代ものは、三十三間堂に比べ0.820倍遠くに見える事になります  
 (つまり、圧迫感が増えた分だけ近く見えます。)  
 同様に建物の前の敷地面積も見かけ上0.672倍広く感じられる事になります  
 (つまり、圧迫感が増えた分だけ狭く見えます。)

地所価格を入力してください

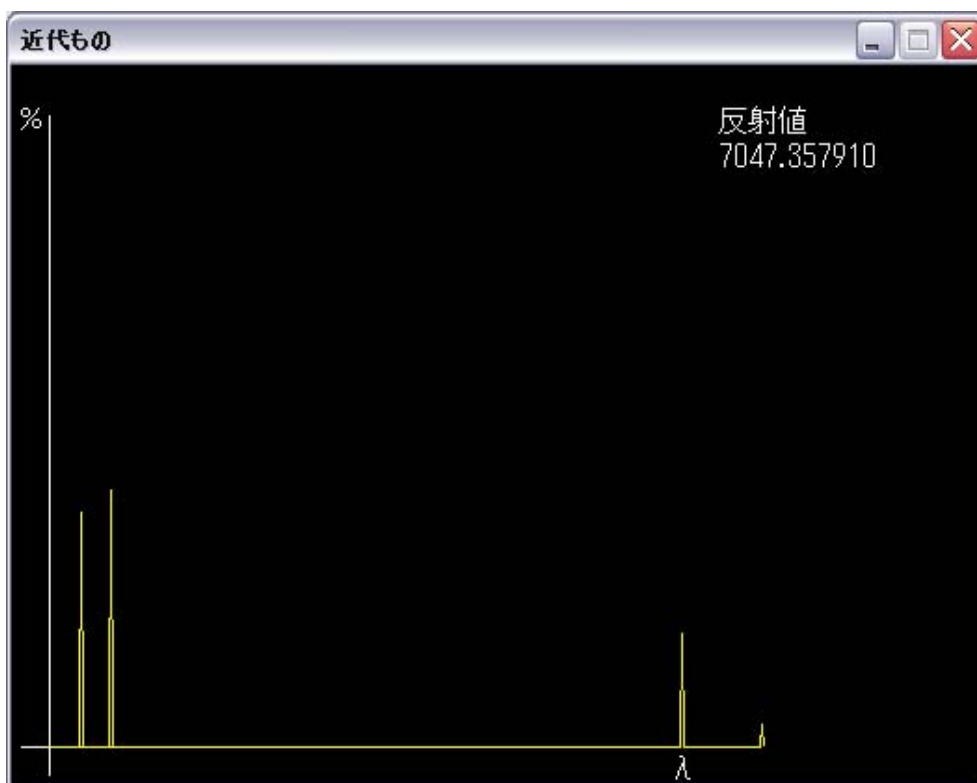
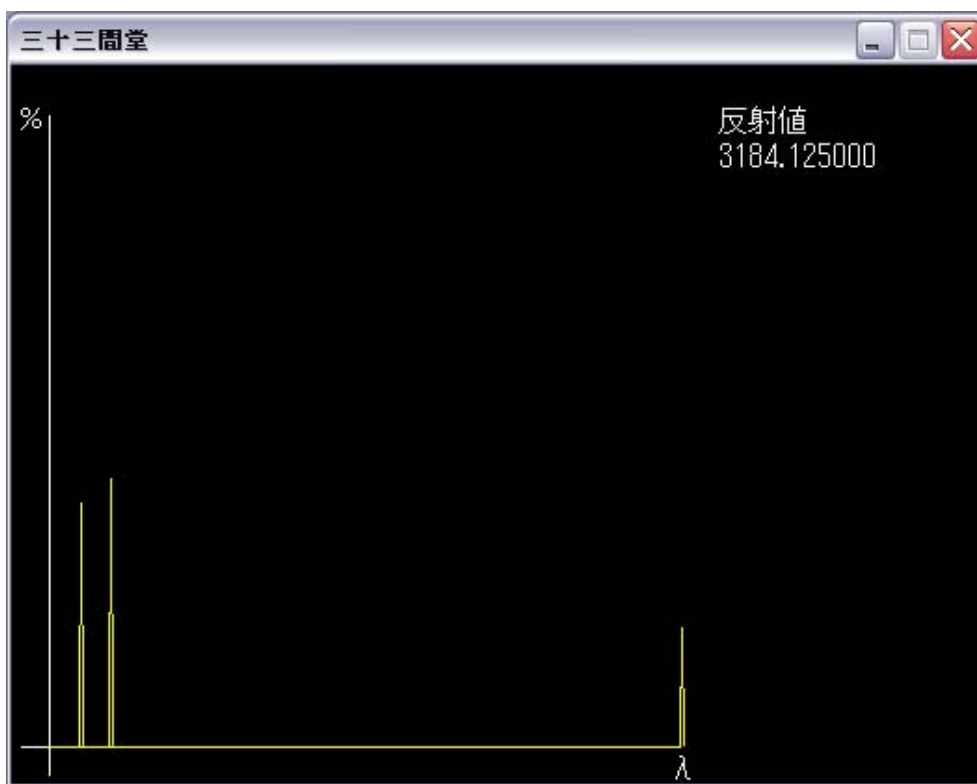
10000 円 換算

近代もの の場合、ステルス効率によって1966円、損をすることになります

三十三間堂のスペクトル分布表示 近代もの のスペクトル分布表示

比較の結果、「三十三間堂」より「近代もの」の方が圧迫感が増している。その違いは以下のよう

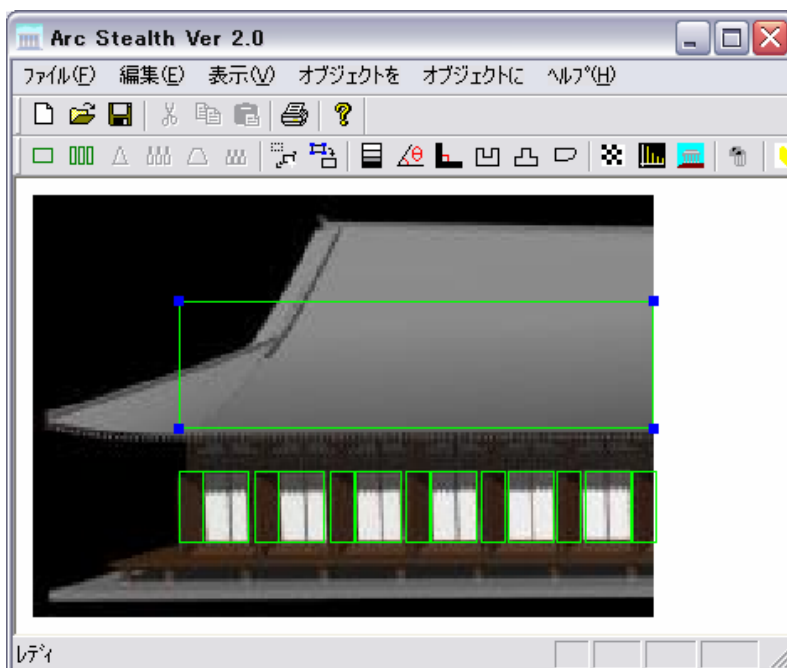
にスペクトルグラフに現れている。



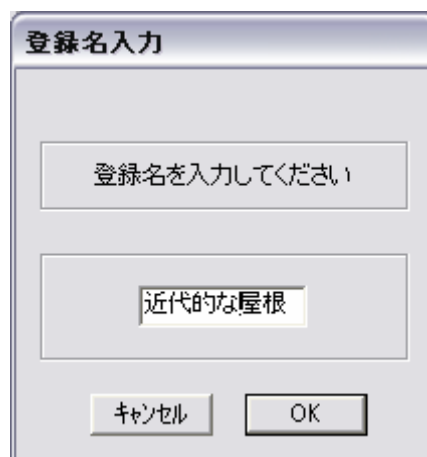
ここで、いったんソフトを閉じる。

さて、再びソフトを起動して、再び、CG を読み込む。また保存しておいた\*三十三間堂のファイルを読み込む、CG と矩形の位置がずれている場合、ウインドウの大きさを調節してずれをなおす。

次は、三十三間堂の屋根をとっぱらって、白いコンクリートだった場合を比較する。ただし、白いコンクリートの屋根の高さは元の屋根よりは半分ほど低いものとしている。もちろんコンクリートの屋根であるから角度は0である。



入力が終わったら「登録」して比較結果を見てみる。



地価換算結果

三十三間堂 と 近代的な屋根 のステルス効率を表示します 表示

三十三間堂 のステルス効率を 1 とすると  
近代的な屋根 のステルス効率は 1.100 です。つまり、  
ステルス効率により圧迫感が増加しています。このため、  
近代的な屋根 は、三十三間堂 にくらべ 0.976 倍遠くに見える事になります  
(つまり、圧迫感が増えた分だけ近く見えます。)  
同様に建物の前の敷地面積も見かけ上 0.953 倍広く感じられる事になります  
(つまり、圧迫感が増えた分だけ狭く見えます。)

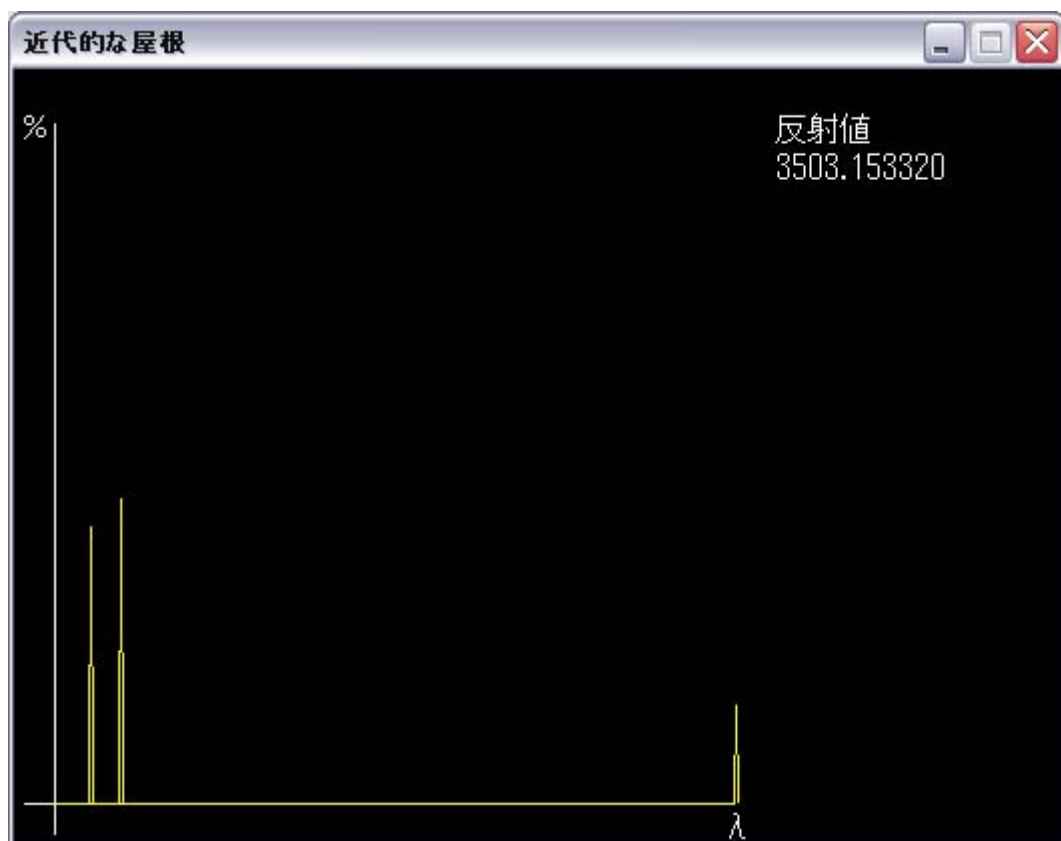
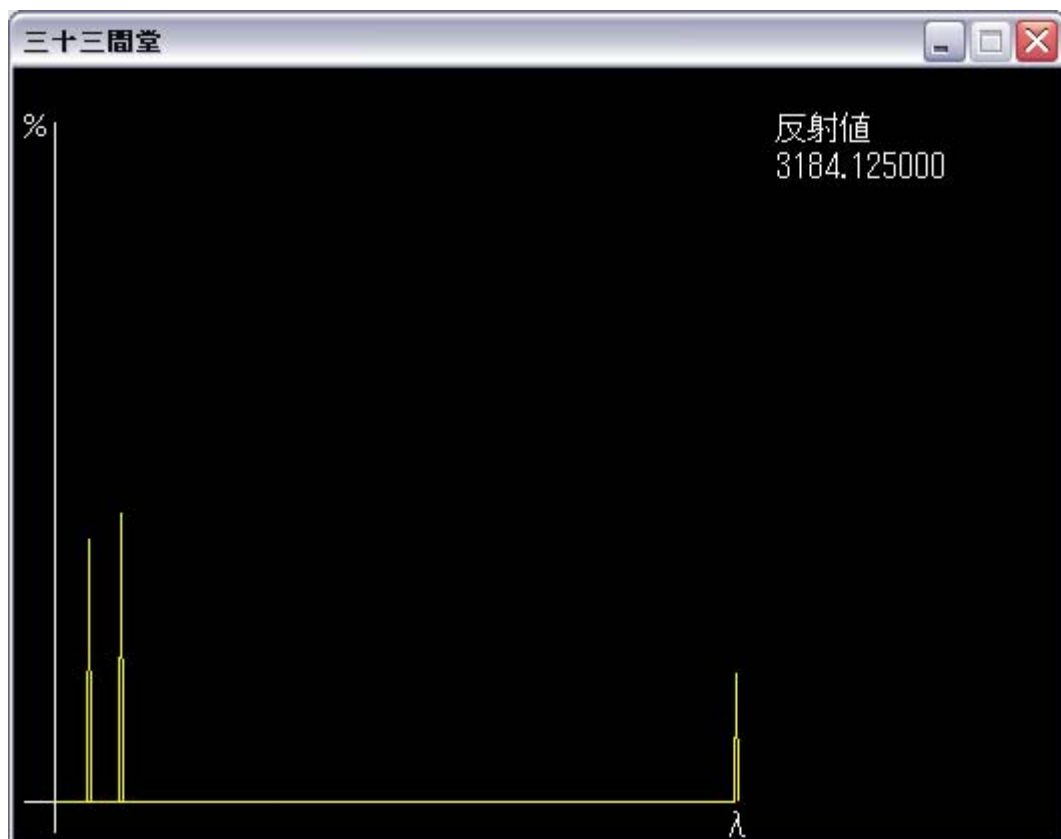
地所価格を入力してください

10000 円 換算

近代的な屋根 の場合、ステルス効率によって 279 円、損をすることになります

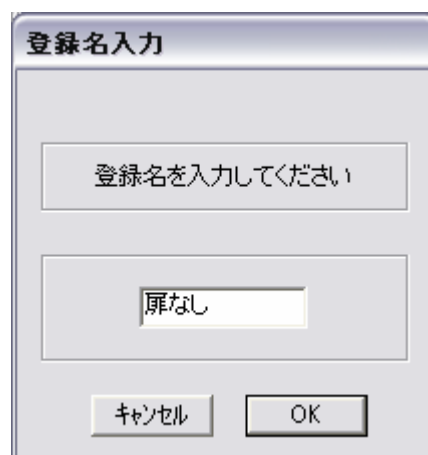
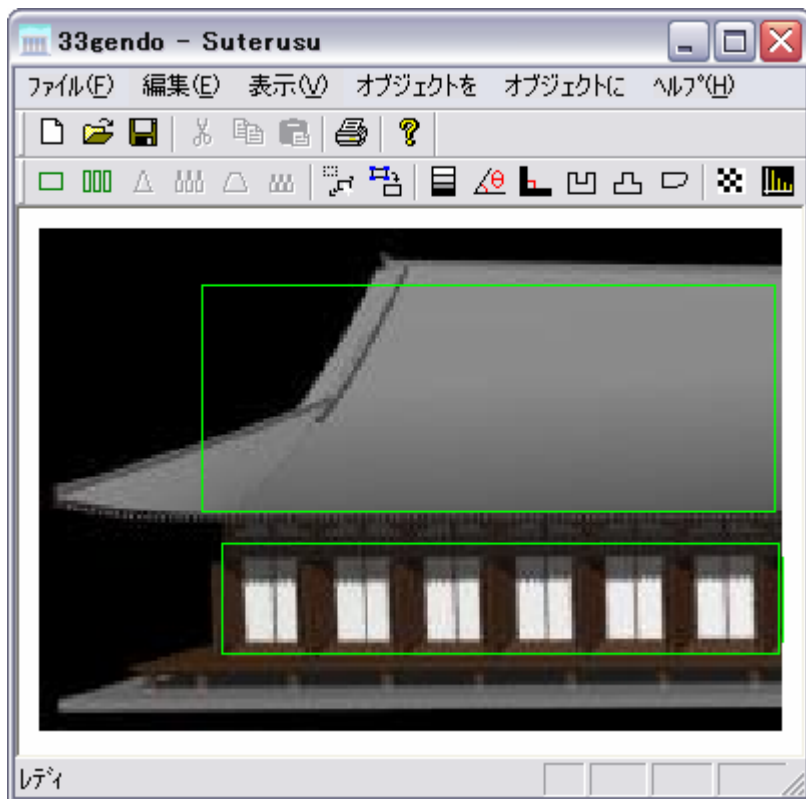
三十三間堂のスペクトル分布表示 近代的な屋根のスペクトル分布表示

コンクリート屋根の場合、半分の高さでも圧迫感が増す結果となっている。また、屋根の面積が小さくなっているにも関わらずスペクトルグラフに大きな変化は見られない。





さて、次は、三十三間堂の扉がなくなってしまった場合についてである。白い扉をなくして、一枚の平面になったとして入力を進めてゆく。明度は3である。



比較結果は、以下のとおり。

**地価換算結果**

三十三間堂 と 扉なし のステルス効率を表示します

三十三間堂 のステルス効率を 1 とすると  
扉なし のステルス効率は 8.409 です。つまり、  
ステルス効率により圧迫感が増加しています。このため、  
扉なし は 三十三間堂 にくらべ 0.587 倍遠くに見える事になります  
(つまり、圧迫感が増えた分だけ近く見えます。)  
同様に建物の前の敷地面積も見かけ上 0.345 倍広く感じられる事になります  
(つまり、圧迫感が増えた分だけ狭く見えます。)

地所価格を入力してください  
 円

扉なし の場合、ステルス効率によって 3930 円、損をすることになります

